



森林報告

草稿

服部文庫

イ 17

2173

6



1174  
2173  
6

邦  
告  
草

五  
月

内  
务  
省

服部文庫  
~~417~~  
~~1896~~



リハシ是ツ森林ノ外套ト云フ

伐木ノ具或ハ伐木ノ具或ハ

樹ノ脆弱ナル者風ニ折レ易シ折レハ中ニ送ス近信ノ樹は波及不早ク伐ル

既ニ風折トナリタルモ亦連カテ傍樹ノ妨害ト云ハカラズ

山林必ク一 故ニ修治少ク修治ノ必キ命取ノ

儼然シテ風ニ死ニシキ地ノ物所形ノニ送スルテ大ニ林ニ害アリ

林ノ下ニ矮林ヲ修治ス

矮林ト云フ要ス多ク新炭トカ多キ林ニテ萌芽カハル樹ヲ修治ス

儼然シテ凡ク死ニシキ易ク百方防キ難キノ地ニ修テハ必ク防ル

雪霜多ク稚樹ニ害アリ而シテ針葉樹害ヲ受ルテ多ク春寒ニシテ

雪ノ雨ト共ニ降ルテ害最大甚シク之ヲ防ク針葉樹交錯シテ極

ハシ 兼テ事ナ

⑦

⑧

⑨

雪霜

春時雨霜重時或早朝ニ水ヲ澆ツテ佳ク是ニ霜氣蒸氣ヲ鎖

同ノ水者水者之ヲ澆ルニ以テ蒸氣ヲ送リ可ク

雪霜ヲ避クルニ平地ハ西南ヨリ東北ニ並列セシム

下密樹ノ左右疎闊アラシム是レ日光ヲ取テカ

疎ノ稚樹ヲ宥スル大甚シク又霜柱ノ稚樹ニ根ヲ起シ幹ヲ倒ス蓋

シ水氣多クニ原田ス故ニ此地ハ水利ニ注意シ地ヲ疏通セシム

且區々少クシテフル

針葉樹ノ交錯テ密隣セシム

外ナシ

海害ノ害稚樹ニ極大ニ或ハ一山坂枯ルテ下ノ畏ルニ大木ニ至

凍害

下州

⑩

⑪

⑫

⑬

海害

⑭

テハ大ニ寒ニ耐ルノ力アリ但年輪豊肥ヲ然レモ或ハ寒ノ為ニ裂スル

アリ其ノ折裂スルヤ遂ニ用材ト為スニ堪クモ亦畏レサルハカク

寒車輒アリ早寒地也洋事其ノ甚ク晩寒ノ地ハ防寒林即ニヲ作ルハ

トモ若シ早寒ノ地早寒年々凍レニ過ラ防寒林ノ為ニ或ハ温素ヲ降ル

テア體男ノ地ハ必ス防寒林ヲ修スルハカク蓋シ早寒ノ来ルルモ原因アリ

氣多キカ禁林茂樹多キカ或ハ地形林窓其原因ヲ察シテ初害ヲ講セサルハ

ノ極ヲ過ラテ凍ルルハカクニ因ル如此地ハ寒ニ耐ル樹ハ少ク

蒸氣ヲ鎖閉セルヲ水ヲ以テ之ヲ消シ反テ蒸氣ヲ通シテ殺殺セシム

少半池ニ草ヲ刈リテ其ノ葉ヲ掃テ下カラス

燻熱

③

燻熱ノ害ハ瘠土ニ論シ上層ノ淺ナル山ノ南陽巖石ヲ以テ成之

タル藪ヲ取去ル山毛栲ノ類ハ種ハカク凡百ノ椎樹皆利ヤラス

落葉下草掃テハラス如是ノ地ハ枝條擴張スル樹ヲ植テ之ヲ

植ヘシ下枝多キ樹最良ナリ

火ノ害最大ナリ其原因スル所ハ法律ヲ以テ之ヲ防ヤサルハカラス

不良心ヲ以テ放火スルハ論ヲ俟タス勿畧モテ過失スルモノ推天天ノ火ヲ用ニ業

其制ヲ設ケタルハカク又逃傷ニ鉄道諸製造場燒炭所ヲ設ケルハ相

當リ距離 其際ノハカクモノ電火ノ為ニ火災及テ者ノ患ナリ

時消所夫ヲ掃シテ之ヲ掃クニ消防未ノ設耗費少トモ

其停亦是ハ火ノ害

火

⑤





書  
總  
用

內  
附  
卷

117.1896



